



Software Product Description

日本語 OpenVMS I64 オペレーティング・システム Version 8.3 ソフトウェア仕様書

SPD 25.C4.22

仕様書の包含する範囲

本書は、日本語 OpenVMS I64 オペレーティング・システム V8.3 (以下、日本語 OpenVMS I64 もしくは日本語 OpenVMS と記述します) のソフトウェア機能仕様を述べたものです。

ここでは標準版 OpenVMS I64 オペレーティング・システム (以下、標準版 OpenVMS I64 もしくは標準版 OpenVMS と記述します) に追加/拡張された日本語処理の機能仕様についてのみ記述していますので、標準版に含まれている基本機能については標準版の SPD を参照してください。

1 日本語処理の概要

日本語 OpenVMS は、標準版 OpenVMS を拡張して、以下の諸領域での日本語の取り扱いを可能にしています。標準版 OpenVMS の基本機能を損なうことなく、追加機能として日本語処理を組み込んだものです。したがって、日本語 OpenVMS では標準版に含まれる機能はそのまま利用できます。

周辺装置やターミナル・デバイスなどの環境があれば、日本語を取り扱うことができますし、英語のターミナル・デバイスなどからは、基本としている英語のまま OpenVMS を利用できます。日本語 OpenVMS のもとでは、英語と日本語の双方の処理が可能で、矛盾なく混在できます。

日本語 OpenVMS には、次の機能があります。

- 日本語ターミナル・ドライバ
- 外字のサポート
- フォント・ユーティリティ

- かな漢字変換用辞書メンテナンス・ユーティリティ
- かな漢字変換ライブラリ
- 日本語画面管理ライブラリ
- 日本語エディタ
- 日本語ソート/マージ
- 日本語ファイル名
- 日本語 ESCP トランスレータ
- ユーザ・キー定義ライブラリ
- デバッグ日本語サポート
- その他の日本語処理用ユーティリティ (KINQUIRE, KCODE)
- 日本語 DECwindows フォント・ファイル/キーマップ・ファイル

1.1 漢字文字集合

日本語 OpenVMS では、DEC 漢字 1983 年版漢字ターミナルと DEC 漢字 1978 年版漢字ターミナルを利用できます。

1983 年版漢字ターミナルでは、JIS X 0208-1983 に準拠した 6,877 字の DEC 漢字 1983 年版文字集合とユーザ定義文字などのための 8,836 字、合計 15,713 字の文字集合を利用できます。1978 年版漢字ターミナルでは、JIS C 6226-1978 に準拠した 6,802 字の DEC 漢字 1978 年版文字集合とユーザ定義文字などのための 8,836 字、合計 15,638 字の文字集合を利用できます。

DEC 漢字文字集合の詳細については、『日本語 OpenVMS 概説書』に記述してあります。

1.2 外字のサポート

漢字ディスプレイ/キーボード・ターミナルでは、初期設定時に JIS 漢字以外のユーザ定義文字等の追加フォントを転送するプリローディング方式、または必要時に転送するオンデマンド・ローディング方式によって、外字をサポートします。

ネットワーク環境での漢字データおよび外字の処理

DECnet においての日本語処理では、漢字データの転送 (ファイル転送、タスク間通信) およびリモート・ターミナル操作 (\$ SET HOST コマンド) が可能です。ただし、DECnet を経由してのオンデマンド・ローディングはサポートされていません。リモート・ターミナルで日本語処理を効果的に行うには、プリローディング方式を行うことをお勧めします。

クラスタ環境での漢字データおよび外字の処理

OpenVMS Cluster では、各ノード間で漢字データを共用できます。また、コモン・システム・ディスクに日本語 OpenVMS をインストールすることも可能です。

ただし、OpenVMS Cluster 環境におけるリモート・ターミナル操作では、前項の "DECnet ソフトウェア" と同様の制限があり、他ノードのユーザ定義文字の使用は、プリローディング方式で行います。

1.3 端末およびコード系の互換性

DEC 漢字文字集合は、日本語 OpenVMS および日本語 Tru64 UNIX に共通で、互換性があります。したがって、これらのシステム間でのデータの受け渡しや端末エミュレーションを行う場合、漢字コード系にかかわる問題はありません。

1.4 フォント・ユーティリティ

日本語 OpenVMS は、ユーザ定義文字などのフォントを作成し維持更新するための Character Manager ユーティリティを提供しています。Character Manager は、サブコマンドでユーザ定義文字の作成/登録等ができます。

1.5 かな漢字変換用辞書

かな漢字変換を行うための辞書として、一般的な国語辞書に人名および地名を加えた、約 10 万語を備えたものを提供しています。辞書は、かな漢字変換ライブラリを利用することによってユーザ・プログラムからも簡単にアクセスできます。

日本語 OpenVMS には、システム辞書 (マスター辞書) に加えて、ユーザごとにそのユーザの参照した単語だけを抜き出して保有する個人辞書 (ユーザ辞書) 機能があります。通常のかな漢字変換はこのメカニズムから、主としてマスター辞書を利用し、個人辞書はユーザが登録した単語や、自動的に学習された単語を記録し、変換効率を上げる目的で使われます。

1.6 かな漢字変換ライブラリ

日本語 OpenVMS は、かな漢字変換 (ローマ字漢字変換を含む) にかかわる各種操作を行うサブルーチン・ライブラリを提供します。このライブラリは OpenVMS の標準のコーリング・シーケンスを用いており、各種のプログラミング言語で作成されたプログラムから呼び出して利用することができます。ライブラリをコールして、かな漢字変換操作を行ったり、かな漢字変換付のデータ入力操作を行うプログラムを作成することができます。

かな漢字変換ライブラリの辞書は、日本語 OpenVMS の各種アプリケーション・ソフトウェアで共通に利用できます。ライブラリの構成内容は日本語 Tru64 UNIX と互換性があります。

1.7 日本語画面管理ライブラリ (日本語 SMG)

日本語画面管理ライブラリ (日本語 SMG) は、標準版 SMG に日本語処理機能を拡張したバージョンです。

1.8 DEC XTPU

DEC XTPU は、DECTPU に日本語処理機能を追加したものです。DEC XTPU は、高性能でプログラマブルなテキスト処理用のユーティリティで、マルチ・バッファ、マルチ・ウィンドウ、サブプロセス機能など数多くの特徴があります。DEC XTPU には標準として、高度な日本語編集機能をもつエディタ、日本語 EVE V3 が用意されています。日本語 EVE V3 には、いままで EVEJ を使っていたユーザのために、EVEJ エミュレーション機能があります。

1.9 日本語ソート・マージ

標準版 SORT/MERGE に以下の機能を追加・拡張したものです。SORT/MERGE のコーティング・シーケンス処理に、漢字特有の性質を考慮しています。

- 音読み順ソート/マージ
- 訓読み順ソート/マージ
- 部首コード順ソート/マージ
- 総画数順ソート/マージ
- 国語辞典方式ソート/マージ

国語辞典方式では、ふりがなフィールドに全角または半角文字を使用することができます。

1.10 日本語ファイル名

Extended File Specification の機能により、日本語のファイル名を ODS-5 ディスクに Unicode 形式で格納することが出来ます。また、RMS や一部のコマンド/ユーティリティでは、ODS-5 のファイルに対して、DEC 漢字コードを用いて最大 118 文字の日本語ファイル名を扱うことができます。

日本語ファイル名をサポートするユーティリティについては『日本語 OpenVMS リリースノート』を参照してください。

1.11 日本語 ESCP トランスレータ

日本語 ESCP トランスレータは OpenVMS システムから PRINT コマンドを発行して、ESC/P J84 に準拠した ESC/P プリンタで印刷を行うための機能です。

この機能を使用するための設定など詳細については、『日本語 OpenVMS 概説書』を参照してください。

1.12 ヘルプ・ユーティリティ

ヘルプ・ユーティリティは、OpenVMS のヘルプを日本語で参照できるようにするユーティリティです。ヘルプが提供する機能は次のとおりです。

- いくつかの OpenVMS コマンドとユーティリティの日本語に翻訳されたヘルプを提供します。
- 使用したい言語を選択するためのコマンド・プロシージャを提供します。

ヘルプでは、プロセスごとに使用する言語を選択することができます。システムにログインした状態では英語に設定されています。

1.13 ユーザ・キー定義ライブラリ (IMLIB)

ユーザ・キー定義ライブラリ (IMLIB) は、かな漢字変換のキー定義をユーザが変更できるようにするためのライブラリです。

IMLIB を使用すると、ユーザは違うアプリケーション内で、同じかな漢字変換キー定義を使用することができます。IMLIB を使用して作られたアプリケーションで、かな漢字変換を実行することにより、ユーザは独自の定義されたキーを使用することができます。

1.14 日本語デバッグ・サポート

日本語デバッグ・サポートは、日本語 COBOL の日本語機能を用いたプログラムのデバッグを容易に行うことを目的とする機能です。

次の機能をサポートします。

- 日本語ユーザ定義語
- 日本語文字定数
- 日本語によるコメント
- かな漢字変換機能
- 日本語 DECwindows インタフェース

1.15 KINQUIRE ユーティリティ

OpenVMS の INQUIRE コマンドの日本語版である KINQUIRE は、日本語を含む DCL コマンド・プロシージャなどに利用できます。

1.16 KCODE ユーティリティ

KCODE ユーティリティは、DEC 漢字コードを他の漢字コードへ変換したり、他の漢字コードを DEC 漢字コードに変換します。

JIS 漢字コードや CP/M 漢字コード、MS-DOS 漢字コード、さらに主要なコンピュータ・ベンダー独自のコード系 (IBM、富士通、日立各社の M シリーズ用漢字コード系、日本電気 (各種) コード系) からの、またはそれらへの、漢字コード変換を行います。

1.17 日本語 DECwindows フォント・ファイル/キーマップファイル

ワークステーション上で日本語を表示するための漢字フォントとして、スクリーン、明朝、ゴシックのフォントを提供します。利用できるフォントの大きさは、スクリーンは 4 種類、明朝、ゴシックは 6 種類です。

キーマップファイルは、日本語 DECwindows Motif でサポートしているキーボードをサポートします。

1.18 日本語 OpenVMS I64 ではサポートしない機能

日本語 OpenVMS Alpha でサポートしている機能のうち、以下の機能は日本語 OpenVMS I64 ではサポートされません。

- 日本語入力プロセス (FIP, FIDRVR)
- 日本語メール (JMAIL, JMAILUTL)
- 日本語メッセージ (JSY_MSGFIL)
- JIS78/83 変換ツール (KCONVERT)
- 漢字プリント・シンピオント (DPF)
- 外字コード変更ツール (KUTL_MISC)
- SNA リモート・ジョブ・エントリ (JSNA)

2 サポートするハードウェア

Integrity サーバ:

rx1600
rx1620
rx2600
rx2620
rx3600
rx4640
rx6600

本ソフトウェアは弊社のライセンス規定に基づいて提供されます。弊社のライセンス規定/方針についての詳細は、最寄りの弊社の各支店/営業所にお問い合わせください。

9 ソフトウェア製品サービス

日本 HP では、様々なサービス・オプションを提供しています。詳細については、最寄りの弊社各支店/営業所にお問い合わせください。

10 保証

本ソフトウェアについては、弊社所定のソフトウェア保証基準に定められた保証が提供されます。

© 2006 Hewlett-Packard Development Company, L.P.

日本語 OpenVMS は、正規のライセンスを持つ OpenVMS Cluster 構成上にインストールされている場合は、機能上の制約を受けません。

- 標準版 OpenVMS I64 オペレーティング・システム

- XPG4 ロケール・データ・ファイル

XP4 ロケール・データ・ファイルのキットは標準版
OpenVMS I64 V8.3 のメディアに含まれています。

本製品の将来のバージョンでは、必要なハードウェアおよびソフトウェアの最小構成が変更されることがあります。

日本語 OpenVMS I64 のキットは、DVD で提供しています。

日本語 OpenVMS I64 のライセンスは標準版 OpenVMS I64 のライセンスと共通です。